

地域等の課題に応じた教育課程研究事業

「伝統文化教育実践研究」～中間報告～

地域とともに歩む学校

<研究課題(仙台市)>

地域に伝わる伝統文化を尊重し、
心豊かな児童生徒の育成を図る。



本事業は、「各教科等における我が国の伝統や文化に関する学習指導についての実践研究を行うことにより、学校教育において児童生徒が我が国の伝統や文化に触れ、関心や理解を深め、それらを大切にしようとする態度を育て、豊かに生きる力をはぐくむことに資するとともに、教育課程の基準の改善の参考となる資料を得る。」ことを趣旨に、国立教育政策研究所より委嘱を受けて実施しています。

仙台市では、福岡小学校が委嘱を受け、「地域に伝わる伝統文化の学習を通して、ふるさとを愛し、心ゆたかな児童の育成～民俗芸能「鹿踊・剣舞」を取り入れた学習を通して～」を研究主題に掲げ、実践研究に取り組んでいます。



子ども(師匠)から子ども(弟子)へ 脈々と受け継がれる伝統文化 仙台市立福岡小学校 校長 日下 孝 全校児童 64名

「おじいちゃんもお父さんも踊った福岡じまんのおどりなので、ぼくも早くおどれるようになります。」
(弟子の声から)



「師匠」から「弟子」への指導の様子



「こんなふうに、足を踏ん張って、まるで本物の鹿のように踊るんだよ」
(師匠の声から)



伝承の心～育む福岡小の3つの心～

あいさつする心

楽しく踊る心

道具を大切にする心

総合的な学習の時間で育てます

- 師匠(6年生)・弟子(4・5年生)制度 「技」の伝承 「心」の伝承
 - ・年間30時間を指導計画に組み入れています。
 - ・何を伝え、何を感じとったかを書いています。「記録カード」を積み重ね、伝承に役立てています。
 - ・保存会とのつながりを大切にしています。
 - ・発表の場を設定しています。(校区夏祭り、冠のふるさと祭り(地区)、学芸会、地域の施設訪問、他ステージ発表等)
 - ・「鹿踊剣舞の伝承活動」に係る評価規準を作成し確かな見取りに取り組んでいます。
 - ・1, 2年生は生活科の中で学んでいます。

※評価規準の詳細及び、道徳資料については福岡小学校ホームページ参照

<http://www.sendai-c.ed.jp/~fukuoka/>

道徳の時間で育みます

- 自作教材を活用して
 - 1年生「がっこうのたからもの」(作文)
 - 2年生「早くおどりたいな」(作文)
 - 3年生「福岡の鹿踊・剣舞」(保存会資料)
 - 4年生「鹿踊・剣舞の復活」(歴史資料)
 - 5年生「石川さんの唄」(保存会資料)
 - 6年生「佐々木先生からの手紙」(元福岡小学校の先生からの手紙)

○今年度の実践研究

・成果

地域の伝統文化にふれることにより三百有余年の歴史と伝統に誇りがもてたこと。また、上級生への尊敬の念や下級生の成長を認める気持ちが見られるなど、精神的な成長がみられた。

・次年度に向けて

郷土への愛着を深める指導を更に工夫し、地域社会に主体的に参画できる児童の育成を目指したい。



「自分たちが学んだ“技”と“心”，そして地域の人たちの思いを、しっかりと受け継いでください。」
(伝承活動引き継ぎ式での6年生の言葉から)